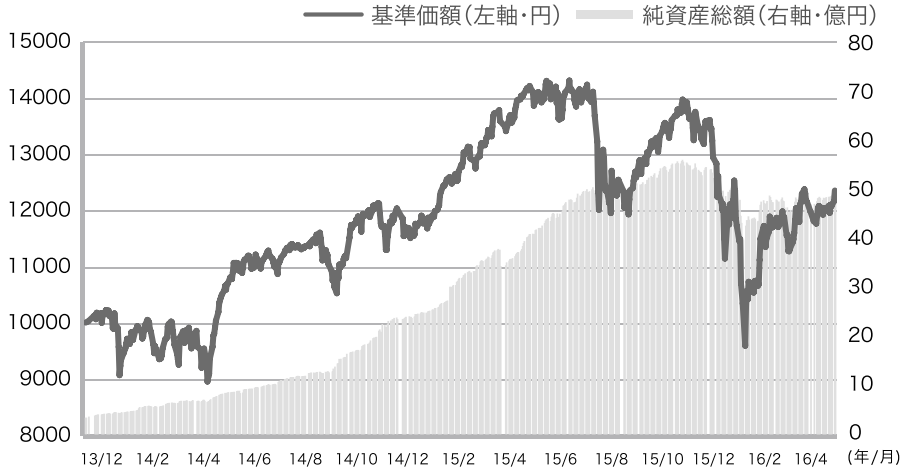




2016年5月31日付

基準価額の推移



ファンドのデータ

基準価額	12,519円
純資産総額	5,030百万円
受益者数(直販)	1,697人(+14)

分配実績

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)
0円	0円

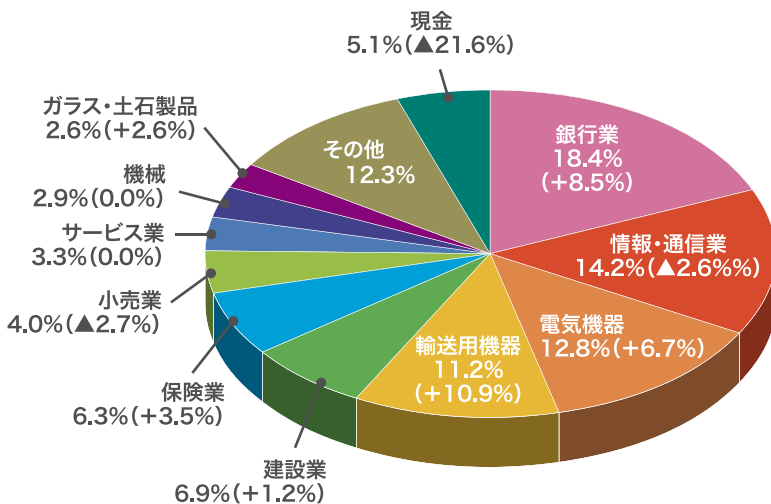
ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	94.9%	21.6%
現金等	5.1%	▲21.6%
構成銘柄	52社	▲1社

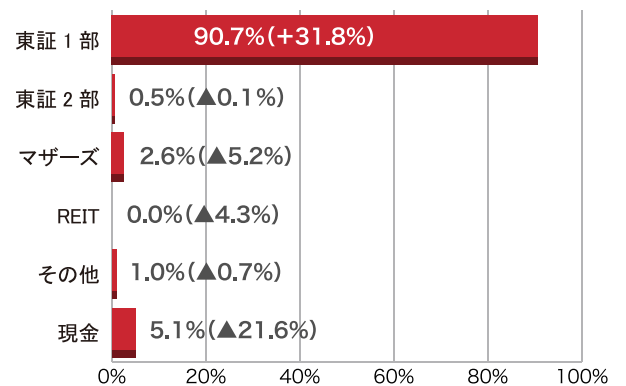
基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
4.39%	17.46%	▲9.01%	▲11.66%	25.19%

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比 ()内は前月比



● 比率は純資産総額を100%として計算しております。 ● 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

市場概況

先月末(4/28)の日銀金融政策決定会合における追加金融緩和見送りを受けた円高ドル安の進行により、外需関連株を中心に下落しましたが、その後は米株の上昇や円安、原油価格の上昇などを受けて好業績株などが買われ上昇に転じました。月末(5/31)にかけては、財政出動への期待や、米国での早期利上げ観測の台頭、消費増税先送り観測が急速に広まったことなどにより、株式市場も戻りの上値を試す展開となりました。TOPIXの月間リターンは2.93%の上昇、日経平均は3.41%の上昇となりました。

詳細は以下の通りです。月初2日から6日にかけて、株式市場では連休を挟んで売買が手控えられる中、先月末(4/28)の日銀金融政策決定会合での追加金融緩和見送りを受けてドル円相場が一時1ドル=106円台前半まで急速に円高が進み、外需関連株を中心に下落しました。その後は米国株の上昇や円安、原油価格の上昇などを受けて好業績株などが買われ上昇しましたが、日経平均17000円手前での利益確定の売りなどに押される展開となりました。23日は、G7財務相・中央銀行総裁会議で目立った材料が出なかったことから、円高に振れたことを嫌気して日経平均は一時16400円台まで下落しましたが、米国での早期利上げ観測や、伊勢志摩サミット後の政策発動期待などから買い戻される展開となりました。27日以降は、同サミットにおいて世界経済の危機回避に向けた首脳宣言が合意されたことに加えて、原油価格の上昇、イエレンFRB議長による早期利上げに前向きな姿勢などから円安が進み株式市場は上昇しました。月末(5/31)にかけては安倍首相が消費増税を再度先送りすると観測が急速に広まり、増税による景気悪化の懸念後退から日経平均は約1か月ぶりに17000円台を回復しました。

主な株式指数をリターン順に見ると、JASDAQ指数(+4.61%)、日経JASDAQ平均(+3.69%)、日経平均株価(+3.41%)、TOPIX(+2.93%)、東証2部(+2.35%)、東証マザーズ指数(+1.16%)となりました。TOPIX規模別では、スモール(+3.81%)、ミッド400(+3.03%)、ラージ70(+2.98%)、コア30(+2.52%)となりました。TOPIX業種別株価指数のリターン上位3位は、その他製品(+8.32%)、建設業(+5.72%)、食料品(+5.01%)でした。同下位3位は、ゴム製品(▲6.53%)、石油・石炭製品(▲4.7%)、その他金融業(▲2.37%)でした。なお33業種のうち27業種がプラスリターンになっています。

運用状況

◎5月の主な投資行動

先月末(4/28)の日銀金融政策決定会合にて追加緩和が見送られたことにより、外需関連株を中心に下落した局面において、当ファンドでは電気機器や輸送用機器などを買い付け、株式等組入比率(以下、同比率)を80%程度まで引き上げました。その後、23日にG7財務相・中央銀行総裁会議で目立った材料が出なかったことから円高となり、日経平均は一時16400円台まで下落した局面から24日にかけて、小売業を一部売却、及びREITを全売却する一方、銀行業や輸送用機器、電気機器などを買い付け、同比率を98%程度まで引き上げました。月末(5/31)にかけては、消費増税の再延期観測が急速に広まり、日経平均が17000円台まで上昇する局面において、東証マザーズに上場する情報通信業を一部売却するなど、月末(5/31)の同比率を94.9%にしました。

◎5月のファンド月間リターンとその要因

5月末の基準価額は12519円(4月末11993円)、ファンドの月間リターンは4.39%の上昇となりました。主な要因は、前月から組入上位としていた銀行業や情報通信業などが上昇したことによるものです。なお、当ファンドにベンチマークはありませんが、TOPIX(以下、同指数)は2.93%の上昇となっています。当ファンドが同指数を上回った主な要因は、同指数の構成よりも多く保有していた銀行業(組入比率前月末9.9%→当月末18.4%)が同指数を上回る上昇(+4.93%)となったことなどです。

◎5月末のポートフォリオ

株式等組入比率は94.9%(前月末比+21.6%)に大きく引き上げており、逆にキャッシュ比率は5.1%(同▲21.6%)に引き下げています。市場別構成比率では、東証1部90.7%(同+31.8%)、東証マザーズ2.6%(同▲5.2%)となっており、REITの組入比率はゼロにしています。業種別では、1位が銀行業18.4%(同+8.5%)、次いで情報通信業14.2%(同▲2.6%)、電気機器12.8%(同+6.7%)となりました。組入銘柄数は52銘柄(同▲1)となりました。

● 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

2016年6月6日 運用部長 糸島 孝俊

ザ・2020ビジョン月次運用報告動画のお知らせ

5月10日に収録した『5月のマンスリービジョン』において、5月は決算発表など難しい相場局面となることから守りながら攻めるスタンスを『鎧兜』で表現しました。2016年は今後2～3年を見通す中で値固めの年になるという見通しに変更はありません。今後も、月次の運用報告動画『マンスリービジョン』では、月次レポートの内容だけでなく、今後の見通しを示唆するメッセージも発信する予定です。ぜひご覧ください。

組入上位5銘柄の紹介

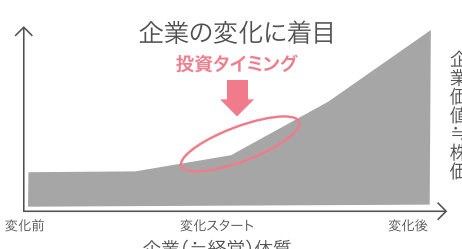
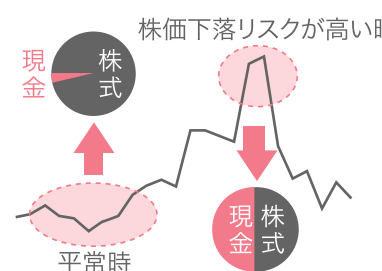
(2016年4月28日現在)

銘柄名		概要
業種	組入比率	
三井住友フィナンシャルグループ		3メガバンクの一角で、銀行業務を中心に、クレジットカード業務、リース業務、情報サービス業務、証券業務などのさまざまな金融サービスにかかわる事業を展開。経営方針は、最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループを目指す。
銀行業	4.7%	
日本アコモデーションファンド投資法人		東京23区に所在する賃貸住宅を中心に質の高いポートフォリオを構築・運営。対象は、高稼働率を見込めるシングル・コンパクトタイプが中心。三井不動産からの物件の供給や同社グループを介した広範囲な物件情報を通じ、投資機会を獲得。
REIT	3.0%	
三菱重工業		世界中の社会的課題をものづくりで解決することが使命。「エネルギー・環境」、「防衛・宇宙」、「交通・輸送」、「機械・設備システム」の4つのドメインを持つ。事業規模の拡大、資本効率および純利益水準の向上を目指す。
機械	2.9%	
ソニー		井深大氏と盛田昭夫氏らによって設立されたベンチャー企業が前身。エレクトロニクス事業を出発点に、音楽・映画、ゲーム、金融と企業規模が拡大するなか、創業精神は失われ、国際競争力も大きく低下。新しい経営体制のなかで企業体質の変革を目指す。
電気機器	2.9%	
大林組		1892年、大林芳五郎が大阪において創業した大手ゼネコン4社の一角。大阪圏だけでなく、首都圏比率も高い。早くから海外に目を向け、タイの建設市場ではトップグループに位置する。企業文化として、創業者の信条の「損して得とる支払い哲学」が受け継がれている。
建設業	2.8%	

- 組入上位5銘柄については、開示基準日その他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

運用方針

変化しはじめた企業、変化にチャレンジする企業を中心に中長期の視点で厳選し、ダイナミックな運用を行います。

<h3>定性評価</h3>  <p>企業の変化に着目 投資タイミング</p> <p>変化前 変化スタート 変化後</p> <p>企業(≒経営)体質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5-10年の中長期的な視点で企業変化に着目 ・「マネジメントが変化した企業」や「時代の変化に対応する企業」 	<h3>日本株のみに厳選投資</h3> <p>50銘柄 <small>厳選</small></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資対象は大型から小型株 ・企業取材など直接的なボトムアップ・アプローチに基づく調査を実施 ・相場見通しや個々の株価水準に合わせて、より株価上昇の確度が高い約50銘柄を厳選 ・50銘柄で分散効果は十分可能
<h3>定量評価</h3> <p>株価に対する割安度合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PER、PBR、配当利回りなど株価に対する指標(バリエーション) <p>収益力の変化と持続性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ROE、利益成長率、利益率など株価上昇による割安感が解消した場合や、さらに割安な銘柄を発掘した場合などには投資期間に関わらず売却 	<h3>ダイナミックな運用</h3>  <p>株値下落リスクが高い時</p> <p>現金 株式</p> <p>平常時</p> <p>現金 株式</p> <p>株式組入比率をダイナミックにコントロール</p>

II 運用報告動画「マンスリービジョン」のお知らせ

5月10日に収録した『5月のマンスリービジョン』において、5月は決算発表など難しい相場局面となることから守りながら攻めるスタンスを『鎧兜』で表現しました。2016年は今後2～3年を見通す中で値固めの年になるという見通しに変更はありません。今後も、月次の運用報告動画『マンスリービジョン』では、月次レポートの内容だけでなく、今後の見通しを示唆するメッセージも発信する予定です。ぜひご覧ください。5月のマンスリービジョン(4月次運用報告) <https://youtu.be/VVoNKXhgpBM>



II ザ・2020ビジョンセミナーのお知らせ

◎7月13日(水)日本株ファンドで成功する長期投資入門(ザ・2020ビジョン入門セミナー)

「ザ・2020ビジョン」のファンドマネージャー自ら、「日本株」、「長期投資」をテーマに、今後の日本株投資の可能性や、長期投資の必要性についてお話しします。投資初心者の方や、これから日本株ファンドに投資をしてみたい方、またこれまでの日本株投信には満足できない、という方にぜひお聞きいただきたいセミナーです。

お申込は弊社コールセンター 03-3221-8730(平日午前9時～午後5時)もしくは <http://www.common30.jp/seminars/detail/385> からお願いいたします!



◎「ザ・2020ビジョン」2016年4-6月期運用報告会

下記の日程で開催予定です。詳細・申込は弊社ウェブサイトにてご確認ください。

【神戸】7月15日(金) 19:00～20:45@神戸市中央区 【福岡】7月16日(土) 13:30～15:15@福岡市中央区

【東京】7月20日(水) 19:00～20:45@中央区日本橋 【名古屋】7月22日(金) 19:00～20:45@名古屋市中村区

【大阪】7月23日(土) 13:30～15:00@大阪市北区

<http://www.common30.jp/seminars/>

II POINTからのお知らせ こどもトラストセミナーに参加しませんか?

ザ・2020ビジョンの寄付のしくみPOINT(ポイント)で応援する視覚障害者柔道連盟。選手のみなさんの視覚障害の状態は様々なので、パラリンピックでの試合の規定は、全く目の見えない選手と弱視の選手と一緒に試合ができるように工夫されています。

<http://judob.or.jp/judo/rules/>

普段の稽古は、視覚に障害がある人もない人も一緒に行っています。対戦をみると、どちらの選手が見えていて、見えていないのかわからなくなるほどの迫力があります。

さて、「目がみえないって本当はどういうことなんだろう？」

そんな素朴な問いかけにNPO法人コラブルが応えてくださることに。

こどもトラストセミナー「みえるであそぶ」with NPO法人Collable

6月19日(日) 10:00～11:30

詳細・お申し込みは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.common30.jp/seminars/detail/176>

一緒に「みえること」についてこどもたちと一緒に楽しく考えられるワークショップを行います。



*写真はウィズダムアカデミー田園調布・自由が丘校での過去のこどもトラストセミナーの様子です。

メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
5月6日	Sankei Biz	「投資家交流で兜町再活性化 平和不動産、新たな情報発信拠点運営」 で草食投資隊が紹介されました
5月9日	日経新聞	【国内株式概況】「今週の見通し・株式 上値重い展開」で糸島がコメントしました
5月10日	日経電子版	「ロボットカーに追われる自動車株 世界時価総額ピーク比50兆円減」で糸島がコメントしました
5月11日	日経新聞	【国内株式概況】「東証14時、膠着感強まる 利益確定売りで上値重い」で糸島がコメントしました
5月18日	BSジャパン	「日経プラス10」に糸島が出演しました
5月18日	日経新聞	【国内株式概況】「日本株、GDP「いいとこ取り」で銀行株高」で糸島がコメントしました
5月19日	日経新聞	【スクランブル】「1株利益、選別の目安に 自社株買い増え注目度高く」 で糸島がコメントしました
5月22日	日経電子版	マネーブログカリスマの直言に「若者が開く日本の未来と資本主義」と題し洗澤が寄稿しました
5月24日	岐阜新聞	洗澤栄一記念財団執行理事・洗澤健氏企業経営に外の視点を◆テーマ「論語と算盤」で未来を拓く
5月24日	TV東京	モーニングサテライト【私の相場観】に糸島が電話出演いたしました
5月24日	日経電子版	【出世ナビ】私を変えたMBA 洗澤栄一の玄孫がMBAでつかんだ2つの大切なこと 洗澤健・コモンズ投信会長に聞く(上)
5月30日	日経電子版	【出世ナビ】私を変えたMBA 改めて響く高祖父洗澤栄一の言葉 洗澤健・コモンズ投信会長に聞く(下)
5月30日	日経電子版	「株薄商い、日本を「ご都合主義」と見始めた海外勢」で糸島がコメントしました
5月30日	ネットマネー	別冊「長期投資本格入門ガイド」で草食投資隊が紹介されました

セミナー案内

セミナー名	日付	時間	場所	
日本株ファンドで成功する長期投資入門 (ザ・2020ビジョン入門セミナー)	7月13日(水)	19:00~20:30	東京都中央区(東京証券会館1階・CAFE SALVADOR BUSINESS SALON)	
「ザ・2020ビジョン」 ファンド説明&運用報告会	7月15日(金)	19:00~20:45	兵庫県神戸市(Plug078)	
	7月16日(土)	13:30~15:15	福岡県福岡市(アクロス福岡)	
	7月20日(水)	19:00~20:45	東京都中央区(Fin Gate)	
	7月22日(金)	19:00~20:45	愛知県名古屋市(ういんくあいち)	
	7月23日(土)	13:30~15:00	大阪府大阪市(AP大阪梅田茶屋町)	
コモンズ30塾『女性の活躍セミナー』 コモンズ30ファンド投資先企業 【ベネッセホールディングス】から学ぶ	7月1日(金)	19:00~21:00	東京都千代田区(新丸の内ビルディング)	
コモンズ投信ファンド説明会	6月18日(土)	14:00~16:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)	
	7月9日(土)	13:30~15:00	東京都中央区(東京証券会館1階・CAFE SALVADOR BUSINESS SALON)	
	7月28日(木)	19:00~20:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)	
コモンズまなび塾 はじめて学ぶ投資信託	DAY1 「投資信託の基礎」	6月8日(水)	15:30~17:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	DAY2 「目論見書・運用報告書の読み方」	6月15日(水)	15:30~17:30	
	DAY3 「投資信託を選び方」	6月22日(水)	15:30~17:30	
コモンズ×あしたは未来塾 ゲームで学ぶ! 「じぶん年金の作り方」(つみたて体験ゲーム)	6月21日(火)	19:00~21:00	東京都中央区(東京証券会館1階・CAFE SALVADOR BUSINESS SALON)	
ジュニアNISA徹底活用! パパとママのためのこどもトラストセミナー	(お子様連れ可)	6月14日(火)	13:30~15:30	東京都中央区(東京証券会館1階・CAFE SALVADOR BUSINESS SALON)
		7月19日(火)	13:30~15:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
こどもトラストセミナー 「みえるであそぶ」with NPO 法人 Collable		6月19日(日)	10:00~11:30	東京都千代田区 (ウイズダムアカデミー・田園調布自由が丘校)
第8回コモンズ社会起業家フォーラム		10月1日(土)	14:00~17:00	東京都千代田区(文京学院大学)
くつろぎBAR		6月15日(水)	18:00~20:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
くつろぎBAR【週末編】	(お子様連れ可)	7月9日(土)	15:30~17:30	東京都中央区(東京証券会館1階・CAFE SALVADOR BUSINESS SALON)

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターへお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時~午後5時受付)

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時)

03-3221-8730

■ウェブサイト

<http://www.common30.jp/>

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階